

調査票見本

※ ★印の付いている設問は幼稚園版調査票のみのオリジナル項目です。それ以外の設問は保育所版、認定こども園版との共通項目になります。

幼稚園版

あなた（本調査用紙に記入している方）と貴園の環境や職員についておたずねします。

Q1 あなたの現在の役職について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 園長・所長・施設長 | 3. 主任 |
| 2. 副園長（教頭）・副所長・副施設長 | 4. その他 |

Q2 貴園の設置形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 国立 | 5. 私立【その他の法人】 |
| 2. 公立 | 6. 私立【個人】 |
| 3. 私立【宗教法入】 | 7. その他（具体的に： _____） |
| 4. 私立【学校法人】 | |

Q3 貴園には、次にあげる環境や設備はありますか。あるものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

〈環境や設備など〉

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 園庭 | 6. 固定プール（ビニール製などの移動可能なものは除く） |
| 2. 砂場 | 7. ピアノなどの鍵盤楽器（各保育室に設置） |
| 3. ブランコ | 8. 大型積み木 |
| 4. すべり台または複合大型遊具 | 9. 巧技台 |
| 5. 栽培活動ができる花壇や畑 | |

〈専用の部屋〉

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 10. 調理室または配膳室 | 15. 午睡専用の部屋 |
| 11. 食事専用の部屋（ランチルーム） | 16. 保護者と面談する部屋（相談室など） |
| 12. 遊戯室 | 17. 子育て支援専用の部屋 |
| 13. 図書室（絵本の部屋）または図書コーナー | 18. 保育者・職員用の会議室（職員室は除く） |
| 14. 預かり保育または延長保育専用の部屋 | |

〈情報機器〉

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 19. 園長専用のパソコン | 21. 園児が使えるパソコン（タブレット型は除く） |
| 20. 保育者が使えるパソコン | 22. 園児が使えるタブレット型パソコン（iPad など） |

Q4 貴園の園長・所長・施設長は、次にあげる資格や免許を保有していますか。保有しているものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 幼稚園の教員免許 | 5. 社会福祉主事 |
| 2. 保育士の資格 | 6. 社会福祉士 |
| 3. 小学校の教員免許 | 7. 1～6のいずれも保有していない |
| 4. 幼稚園・小学校以外の学校の教員免許 | |

Q5 園長・所長・施設長、副園長（教頭）・副所長・副施設長、主任（担任をしない）を除く保育者について、（ ）内に数字を記入してください。該当する保育者などがいない場合は、「0」人と記入してください。幼保一体施設の方は、幼保施設の合計を記入してください。

(1) 保育者数の合計と、雇用形態別・保育者としての経験年数別の内訳人数をおたずねします。

A. 保育者数		合計（ ）人 ※下記BとCは、それぞれ（1～4）の合計が、上記の合計数に一致するようにしてください。 ※担任以外にも、保育に直接かかわるすべての人を含めてください。
Aの内訳	B. 雇用形態別	1. フルタイムで <u>正規</u> 雇用（契約期間の定めがない）（ ）人 2. フルタイムで <u>非正規</u> 雇用（契約期間を設けている）（ ）人 3. パートタイムで <u>正規</u> 雇用（契約期間の定めがない）（ ）人 4. パートタイムで <u>非正規</u> 雇用（契約期間を設けている）（ ）人
	C. 保育者経験年数別 ※貴園在職年数に限らず、保育者としての職務経験年数の合計でお答えください。	1. 2年未満（ ）人 2. 2年以上5年未満（ ）人 3. 5年以上10年未満（ ）人 4. 10年以上（ ）人

(2) (1) で回答した保育者について、次にあげる免許・資格の保有者数をおたずねします。

幼稚園教員免許、保育士資格の保有者数 ※複数取得している場合はそれぞれカウントしてください。	1. 保育士資格の取得者	（ ）人
	2. 幼稚園教諭一種免許状の取得者	（ ）人
	3. 幼稚園教諭二種免許状の取得者	（ ）人
	4. 幼稚園教諭専修免許状の取得者	（ ）人
	5. 小学校教諭普通免許状の取得者	（ ）人
	6. 保育士資格と幼稚園教員免許の <u>両方を取得している</u> 保育者	（ ）人
	7. 保育士資格と幼稚園教員免許の <u>どちらも取得していない</u> 保育者	（ ）人

(3) 次にあげる担当別の職員数をおたずねします。

1. クラス担任をしないフリーの保育者（ ）人
2. 主に子育て支援活動にかかわる保育者（ ）人
3. 事務職員 ※パートタイム雇用も含む（ ）人
4. 養護職員（保健師・看護師）（ ）人
5. 栄養士・管理栄養士（ ）人

貴園の園児数や計画・評価などについておたずねします。

- Q6** 貴園の平成 24 年 9 月 1 日現在の、各年齢の定員数・実員数などについて、() 内に数字を記入してください。該当する園児などがいない場合は「0」人と記入してください。
 ※定員数・実員数は、クラス編成上の年齢で記入してください。異年齢クラスを編成している場合は、その年齢を縦に「 } (カッコ)」でまとめて記入してください。
 ※幼稚園の方は、太枠内に記入してください。
 ※幼保一体施設の方は、幼保施設の合計を記入してください。

年 齢	定員数	実員数	クラス数	担任の保育者数 ※延長保育、預かり保育担当は除く
0 歳児	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人
1 歳児	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人
2 歳児	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人
3 歳児 (満 3 歳児を含む)	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人
4 歳児	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人
5 歳児	() 人	() 人	() クラス	() 人 うち非正規 () 人

- Q7** 次の (1) ~ (3) について、それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 教育課程または保育課程について

1. 編成していて、毎年見直している
2. 編成しているが、毎年は見直していない
3. 編成していない

(2) 年間の指導計画（期案・月案）について

1. 作成していて、毎年見直している
2. 作成しているが、毎年は見直していない
3. 作成していない

(3) 幼稚園幼児指導要録または保育所児童保育要録または認定こども園こども要録の写し（あるいは抄本）について

1. 小学校に送付していて、内容について小学校側に補足説明する場がある
2. 小学校に送付しているが、内容について小学校側に補足説明する場はない
3. 小学校に送付していない

→ **SQ.** 1 か 2 を選んだ場合、送付する時期について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 年長児の 2 月末以前
2. 年長児の 3 月
3. 小学校への入学後

資料編 調査票見本

Q11 貴園が現在、特に重点的に取り組んでいる課題を、次にあげるものから3つまで選んで、その番号を□内に記入してください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 乳児（0～2歳児）の保育の充実 | 12. 若手保育者の育成 |
| 2. 幼児（3～5歳児）の保育の充実 | 13. 中堅保育者の育成 |
| 3. 自己評価 | 14. 次期園長候補の育成 |
| 4. 施設・設備、教材など、環境の整備 | 15. 管理職の指導力の向上 |
| 5. 小学校教育への滑らかな接続 | 16. 保育者向けの研修の充実 |
| 6. 障害のある子どもや特別に支援を要する子どもの支援 | 17. 保育者同士が学び合う園の風土づくり |
| 7. 保護者への情報発信 | 18. 幼保一体化への対応 |
| 8. 園運営への保護者の参画 | 19. 施設・設備の有効活用 |
| 9. 地域への（貴園の）広報、周知 | 20. 地域の関連諸機関との連携 |
| 10. 園の保護者への子育て支援 | 21. その他（具体的に： _____） |
| 11. 地域の保護者への子育て支援 | |

--	--	--

Q12 貴園に、障害のある子どもや特別に支援を要する子どもはいますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. いない
 2. いる

→SQ. 「2. いる」を選んだ方におたずねします。その子どもの支援のためにどのような体制をとっていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 行政の補助金を利用して、特別な要員（有給）を配置している
2. 行政の補助金は利用しないが、特別な要員（有給）を配置している
3. クラス担任をもたないフリーの保育者や園長、主任が対応している
4. 複数担任やクラスの園児数を減らすなど、クラス編成上の配慮により対応している
5. ボランティア（無給）を配置している
6. 保護者が介助をしている
7. 自治体が雇用した要員が派遣されている
8. 特別な要員、ボランティア、保護者などの介助はない
9. その他（具体的に： _____）

Q13 貴園ではさまざまな保育活動を行っていると思いますが、特に、通常の保育の時間に、クラス全員で下記のような活動を一齐に行っていますか。A～Hそれぞれについて、次の①～③にお答えください。

	①行っているものすべてに○	※①で○をつけたものについて					③指導者すべてに○	
		②対象年齢すべてに○					外部講師	園の保育者
		2歳以前	3歳	4歳	5歳			
A. 体操（組体操など）	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
B. 音楽活動（鼓笛隊など）	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
C. ひらがな（読み）の練習	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
D. ひらがな（書き）の練習	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
E. 数、計算の練習	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
F. 英語	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
G. パソコン ※iPadなどのタブレット型も含む	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
H. 漢字	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳	1	2	
I. その他（上記以外に行っている特色ある活動：								

Q14 貴園では、課外（通常の保育終了後）に有料の活動を行ったり、園外の習い事教室などへの送迎をしたりしていますか。している場合、A～Kそれぞれについて、次の①②にお答えください。

	①行っている、あるいは送迎しているものについて、あてはまる番号すべてに○			⇒	②①で○をつけたものについて対象年齢すべてに○			
	外部講師を招いて園が主催	場所のみ提供	園外の習い事教室などへ送迎		2歳以前	3歳	4歳	5歳
A. 水泳	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
B. スポーツクラブ（サッカーなど）・体操教室	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
C. パレエ・リトミック	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
D. 楽器（ピアノやバイオリンなどの個人レッスン）	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
E. 音楽教室	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
F. 絵画の教室	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
G. 習字	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
H. 英会話などの語学の教室	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
I. ひらがな（読み）	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
J. ひらがな（書き）	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
K. 受験目的ではない学習塾や計算・書き取りの塾	1	2	3	⇒	2歳以前	3歳	4歳	5歳
L. その他（上記以外に行っている特色ある活動：								

子育て支援や園外の人との交流などについておたずねします。

Q15 貴園では、園の情報や園児の様子をどのような方法で園児の保護者に伝えていきますか。実施しているものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. クラス懇談会
2. 保護者会（全体会）
3. 講演会
4. 保育参観
5. 保育参加や保育士体験
6. 個人面談
7. 送迎時のやりとり
8. 連絡帳（0～2歳児）
9. 連絡帳（3～5歳児）
10. 一人ずつの成長の記録（ポートフォリオなど） | 11. 園便り
12. 学年便り
13. クラス便り
14. 園による掲示物（写真やボード）
15. 園のホームページ
16. 電子メール
17. 家庭訪問
18. 行事を通して
19. その他（具体的に：
) |
|--|--|

Q16 貴園では、A～Mの子育て支援活動を行っていますか。行っている場合、その対象者について、それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	在園児の保護者	地域の保護者など
A. 子育て相談（園の職員による）	1	2
B. 子育て相談（カウンセラーなどの専門家による）	1	2
C. 園庭の開放	1	2
D. 保育室などの施設開放	1	2
E. 体験保育（入園前の親子が園に来て、給食までの時間を過ごすこと）		2
F. 出前保育（貴園の保育者が地域の施設に出向いて行う保育）		2
G. 父親と子どもの交流の場の提供	1	2
H. 子育てサークルなどの支援	1	2
I. 子育て情報の提供	1	2
J. 子育て講座・講演会（保育者による）	1	2
K. 子育て講座・講演会（外部講師による）	1	2
L. 食育を意識した調理実習（お弁当も含む）	1	2
M. 学童保育	1	2

Q17 園で子育て支援活動を行うことについておたずねします。次のA～Gについて、それぞれ、あなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| | とても
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
| A. 園の運営上、プラスになる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. 乳幼児の教育・保育環境がよくなる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 保護者の成長が期待できる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 子育て支援のあり方を考えるきっかけになる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

- | | とても
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
|------------------------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| E. 保護者の依存を招く…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F. 保育者の負担が大きい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G. 園の本来の保育活動にマイナスの影響がある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q18 この10年ほどの間で、保護者や5歳児までの子どもの育ちの変化について感じることを、それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 保護者について

- | | 増えた | 変わら
ない | 減った | わから
ない |
|----------------------------------|-----|-----------|-----|-----------|
| A. 親子の基本的な信頼関係を築いている保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. 早寝早起きなどの生活習慣を大事にしている保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 子どもがやりたいことを尊重し、支援している保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 園の運営方針を理解し、協力的な保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E. 年齢に応じた子どもへのかかわり方を知らない保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F. 子育てに喜びを感じられない保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G. 子どもを甘やかしている保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H. 自分の生き方や生活に子どもを合わせる保護者…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

(2) 子どもの育ちについて

- | | 増えた | 変わら
ない | 減った | わから
ない |
|---|-----|-----------|-----|-----------|
| A. オムツが取れる時期が遅い子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. スキップやなわとびなどの動作ができる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 人の話を最後まで静かに聞ける子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 新しいことに好奇心をもてる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E. ルールを守りながら遊べる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F. 人に自分の気持ちを伝えたり、相手の意見を聞いたりする
ことができる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G. 物事をあきらめずに、挑戦することができる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H. かな文字を読める子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I. 自分の名前をひらがなで書ける子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J. 指やおはじきを使って、数を足したり引いたりできる子ども…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

SQ. 上記のうち、もっとも重要だと思ふ変化について、その番号を□内に記入してください。また具体的なエピソードや変化の背景について、差し支えなければお書きください。

- (1) 保護者について (2) 子どもの育ちについて

エピソードや変化の背景

エピソードや変化の背景

Q19 乳幼児がいる家庭全体に対する以下のような支援を充実させる必要性を感じますか。それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | とても
感じる | まあ
感じる | あまり
感じない | まったく
感じない |
|--|------------|-----------|-------------|--------------|
| A. 保護者が乳幼児の発達やかかわり方について理解を深める
ための情報提供…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. 保護者が乳幼児の発達やかかわり方について理解を深める
ための体験の場の提供…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 保護者自身の心身の健康のための支援…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E. 保護者同士が情報交換できる場や機会の提供…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F. 地域の専門機関とつながるための支援…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G. 保護者のリフレッシュのための時間や場の提供…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H. その他（具体的に：……………） | | | | |

Q20 貴園の園児は、次にあげる園外の人たちと計画的に交流活動をしたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 他の保育所の乳幼児 | 7. 中学生・高校生 |
| 2. 他の幼稚園の幼児 | 8. 専門学校生・大学（短大）生（実習を除く） |
| 3. 小学生 | 9. 高齢者（園児の祖父母と交流する「敬老の日」などの行事は除く） |
| 4. 小学校の教員（校長を含む） | 10. 児童館や図書館の職員 |
| 5. 特別支援学校の幼児や児童 | 11. その他（具体的に：……………） |
| 6. 外国人の留学生 | |

→ **SQ.** 「3. 小学生」「4. 小学校の教員（校長を含む）」を選んだ方におたずねします。どのような交流や活動の場がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 園児が小学校の見学や授業参観をする
2. 園児が小学生と一緒に活動をする
3. 園児が運動会や発表会など、小学校の行事を見学する
4. 園児が運動会や発表会など、小学校の行事に参加する
5. 園児が小学校の給食の体験をする
6. 園児が小学校の校長や教員の話聞く
7. 小学校の教員が園児に保育を行う
8. 小学生が園の行事を見学したり、参加したりする
9. その他（具体的に：……………）

保育者を対象にした研修についておたずねします。

Q21 保育者を対象にした研修についてお答えください。

- (1) 園内研修（自園で主催する研修）を実施する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

週に1回 月に1、2回 年に数回 その他 実施していない
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 …………… 5

- (2) 貴園が許可して保育者が受講する園外研修（外部の講習会など。幼稚園教員については、法律に定められた新規採用職員研修、10年経験者研修、免許状更新講習を除く）について、次の①～④をおたずねします。

- ① 一人の保育者が園外研修を受講する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

週に1回 月に1、2回 年に数回 その他 受講していない
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 …………… 5

- ② 昨年度、貴園の保育者は、行政や他園、関連諸団体が主催する幼保合同研修にどれくらいの頻度で参加しましたか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

週に1回 月に1、2回 年に数回 その他 参加していない
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 …………… 5 ※一人でも参加すれば、1回とカウント

- ③ 貴園の保育者が園外研修に参加する時間帯の勤務の扱いについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 勤務時間内が多い
2. 勤務時間外が多く、超過勤務扱いにしている
3. 勤務時間外が多いが、超過勤務扱いにはしていない

資料編 調査票見本

④ 保育者が受講する園外研修の主催者についておたずねします。以下にあげる研修の中で受講する回数が多いものを3つまで選んで、その番号を□内に記入してください。

1. 都道府県または都道府県教育委員会が行う研修
2. 市町村または市町村教育委員会が行う研修
3. 幼稚園関連団体が行う研修
4. 保育所関連団体が行う研修
5. 認定こども園関連団体が行う研修
6. 大学や短期大学が行う研修
7. 幼児教育・保育関連の出版社が行う研修
8. 特定の幼児教育・保育の手法を推進する団体が行う研修
9. その他（具体的に： _____）

--	--	--

(3) 貴園の保育者が受講する研修として、特に必要だと思う内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

〈園運営に関すること〉

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 幼児教育・保育行政や国の施策 | 3. 小学校との連携、接続 |
| 2. 幼稚園、保育所の連携や一体化 | 4. 子ども・子育て新システム |

〈幼児理解や保育実践に関すること〉

- | | |
|-----------------------|--|
| 5. 指導計画の作成 | 12. 運動、遊びの実技演習 |
| 6. 乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法 | 13. 子どもの人権 |
| 7. 幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 | 14. 幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録、
認定こども園こども要録の記載 |
| 8. 子どもの発達 | 15. 自己評価 |
| 9. 子どもの発達障害の特性の理解 | 16. 保育記録、ドキュメンテーション |
| 10. 特別な支援を必要とする子どもの保育 | |
| 11. 子どもの病気と対応 | |

〈保護者や地域に関すること〉

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 17. 園の保護者への子育て支援 | 20. 地域との連携や地域資源の活用 |
| 18. 保護者の心理的な問題への対応 | 21. その他（具体的に： _____） |
| 19. 地域の保護者への子育て支援 | |

貴園の課題や、保育者の資質向上に必要なことについておたずねします。

Q22 貴園の保育実践上、運営上の課題についておたずねします。次のA～Vについて、それぞれ、課題の程度としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 施設・設備の充実	1	2	3	4
B. 予算（補助金、保育料など）の確保	1	2	3	4
C. 適正規模の維持、確保	1	2	3	4
D. 保育者の確保	1	2	3	4
E. 保育者の資質の維持、向上	1	2	3	4
F. 保育内容・方法の充実	1	2	3	4
G. 新たな園児の獲得	1	2	3	4
H. 障害のある子ども・特別に支援を要する 子どもの対応	1	2	3	4
I. 安全、防犯の取り組み	1	2	3	4
J. 保護者に対する指導	1	2	3	4
K. 保護者との協力、連携	1	2	3	4
L. 保護者同士の協力、連携	1	2	3	4
M. (他の) 幼稚園との連携	1	2	3	4
N. (他の) 保育所との連携	1	2	3	4
O. 小学校との連携	1	2	3	4
P. 地域の諸機関との連携、協力	1	2	3	4
Q. 自己評価、自己点検の実施	1	2	3	4
R. 子育て支援活動の充実	1	2	3	4
S. 幼児教育・保育の重要性の周知	1	2	3	4
T. 園の統廃合	1	2	3	4
U. 地域の人材の活用	1	2	3	4
V. 預かり保育／延長保育の内容 (食事、環境、職員数など)	1	2	3	4

SQ. 上記のうち、もっとも重要な課題だと思うものについて、その番号を□内に記入してください。また、その課題にある背景や要因はどのようにお考えでしょうか。差し支えなければお書きください。

背景や
要因

Q23 貴園の保育者の資質が向上するために必要だと思うことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

〈養成課程に関すること〉

1. 養成課程の教育内容の充実
2. 養成課程の年限の延長
3. 養成課程における実習指導の充実
4. 養成課程における実習の日数増加

〈労働条件などに関すること〉

5. 保育者の給与面での待遇改善
6. 職員配置基準の改善
7. 非正規雇用保育者の正規化
8. 保育者が育児休業をとるための園に対する給付の充実

〈免許・資格に関すること〉

9. 幼稚園教員免許・保育士資格の併有促進
10. 幼稚園教員免許・保育士資格の一本化
11. 幼稚園教員免許・保育士資格の上級免許の創設
12. 保育士の資格更新制度の導入

〈研修に関すること〉

13. 園内研修を実施する機会の保障（代替保育者確保のための人件費の充実など）
14. 園外研修に参加する機会の保障（代替保育者確保のための人件費の充実など）
15. 園内研修の内容の充実
16. 園外研修の内容の充実
17. 園内研修に対する講師の派遣
18. 幼稚園教員と同等の研修を保育士が受ける権利の保障
19. 保育者の経験年数に応じた年次研修を受ける権利の保障
20. 研修に参加することで認定資格などをもらえる仕組み
21. 小学校や中学校などとの合同研修
22. 他の幼稚園・保育所との合同研修
23. 長期研修制度
24. 公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会

〈園長、保育者に関すること・その他〉

25. 管理職の指導力の向上
26. 保育者のメンタル面のサポート
27. 保育者同士が学び合う園の風土づくり
28. その他（具体的に： _____)

認定子ども園への移行についておたずねします。

★ **Q24** 平成 24 年 9 月 1 日現在、政府は子ども・子育てを支援するための取り組みとして、「認定子ども園の拡充」を進めようとしています。貴園の現況あるいは今後の対応について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現在、認定子ども園の認定を受けている
2. 現在、認定は受けていないが、申請中である
3. 条件によっては、0～2歳を受け入れて「新幼保連携型認定子ども園」^(※1)に移行してもよいと思う
4. 条件によっては、0～2歳を受け入れない「新幼保連携型認定子ども園」^(※1)に移行してもよいと思う
5. 条件によっては、「幼稚園型認定子ども園」^(※2)に移行してもよいと思う
6. 認定子ども園への移行は考えていない
7. 詳しい内容がわからないので、判断できない ※1 学校および児童福祉施設の法的位置づけをもつ施設。保護者の就労などにより保育を必要とする子どもも受け入れる。0～2歳（いずれかの年齢も可）は、受け入れても受け入れなくてもよい。
8. 設置者の方針によるため、判断できない ※2 幼稚園の認可のみであるが、保育所機能をもつ施設。
9. その他（具体的に： _____）

→**SQ.** 2～6のいずれかを選んだ方におたずねします。それを選んだ理由について、差し支えなければお書きください（複数選んだ方は、あなたの気持ちにもっとも近い番号を 内に記入したうえで、理由をお書きください。

理由

Q25 貴園が認定子ども園に移行するかどうかを決める際に、特に重視する条件を3つまで選んで、その番号を 内に記入してください。

1. 認定子ども園に移行するための施設整備費の保障
2. 職員の配置基準を満たすための人件費の保障
3. 保育者の処遇（給与）を改善するための人件費の充実
4. 保育者の研修参加など、幼児教育・保育の質の維持・向上のための予算の充実
5. 認定子ども園の認定を受ける際の基準の緩和
6. 会計処理や申請手続きなどの事務手続きの簡素化あるいは一本化
7. 自治体における所管の一本化
8. 先行している認定子ども園の実践に関する情報の提供
9. 重視する条件は、特でない
10. その他（具体的に： _____）

--	--	--

Q26 認定こども園への移行についての不安・課題と期待できることをおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 不安・課題

1. 今はまだわからない
2. 不安や課題は、特にない
- (2) に進んでください。

〈移行前の不安・課題〉

3. 申請しても、需給調整されて実際に認定されるか不安である
4. 施設・設備の面で対応が困難である
5. 保育者の確保が困難である
6. 今の保育を変える必要があるのかがわからない
7. 0～2歳児の保育への対応が困難である

〈移行後の不安・課題〉

8. 会議や研修時間の確保が困難になる
9. 保育の反省や翌日の準備を行う時間の確保が困難になる
10. 長時間児と短時間児がいることで、十分な保育を行うことが困難になる
11. 長時間児と短時間児それぞれの保護者に十分な対応をすることが困難になる
12. 園同士の競争が激化して、園の運営・経営が厳しくなる
13. 保育者の体制づくり（ローテーションなど）が困難になる
14. 事務的な負担が大きくなる
15. その他（具体的に：)

(2) 期待できること

1. 今はまだわからない
2. 期待できることは、特にない
- **Q27** に進んでください。

3. 希望するすべての子どもに幼児教育・保育を一体的に提供できる
4. 0～5歳児までの育ちを一貫して支えることができる
5. 園の子育て支援が充実する
6. 異年齢の子ども同士がふれあう機会ができる
7. 子どもの育ちに必要な集団規模を確保できる
8. 幼稚園、保育所の保育者の学び合いが進む
9. 地域の待機児童の減少に貢献できる
10. 園児数が増えて、園の運営・経営が安定する
11. 園への補助金が増えて、園の運営・経営が安定する
12. 園の施設を有効活用できる
13. 法律に基づく学校または児童福祉施設の位置づけが付与される
14. その他（具体的に：)

C. 親子登園を実施していて、課題に感じることにについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 運営費の確保
2. 親子登園を行う場所の確保
3. 保護者への対応
4. 活動内容の充実
5. 教材などの環境の充実
6. 活動内容についての計画の作成
7. 保育者の専門性の向上
8. 保育者の確保
9. その他（具体的に： _____）

★ **Q29** 貴園では、子育て支援の一環として2歳児を受け入れていますか（未就園児クラスを含む。親子登園とは異なる）。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 受け入れている → **SQ1.** 今後の予定
1. 受け入れる予定である
 2. 受け入れる予定はない
 3. 検討中である

2. 受け入れている → **SQ2.** 入るクラス
1. 2歳児だけのクラス
 2. 3歳児のクラス
 3. その他（具体的に： _____）

- SQ3.** 受け入れの頻度
1. 平日に毎日
 2. 週に3、4日
 3. 週に1、2日
 4. 月に1～3日
 5. 年に数回
 6. その他（具体的に： _____）

- SQ4.** 人数など
定員数（ ）人・実員数（ ）人・クラス数（ ）クラス・
1クラスの保育者数（ ）人

★ Q30 貴園では預かり保育を実施していますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1. 実施している
- 2. 実施する予定はない
- 3. 検討中である

→ SQ. 「1.実施している」を選んだ方は、次の A～J にお答えください。

A. 実施日について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 平日に毎日
- 2. 平日に数日
- 3. 月に数日
- 4. 土曜日
- 5. 不定期
- 6. 長期休業中
- 7. その他（具体的に： _____）

B. 通常保育前（朝）の預かり保育について、あてはまる番号に○をつけてください。また行っている場合、開始時刻を記入してください。

- 1. 行っていない
- 2. 行っている → () 時 () 分から開始

C. 通常保育終了後（夕方）の預かり保育が終了する時刻を記入してください。

- () 時 () 分で終了

D. 預かり保育の活動内容に関する計画について、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1. 作成している
- 2. 作成していない

E. 活動内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 自由遊び
- 2. ビデオ・DVD 鑑賞
- 3. 絵本や紙芝居の読み聞かせ
- 4. 数人で遊べるゲーム（トランプなどのカードゲームやボードゲーム）
- 5. 絵画・製作
- 6. ワークブック
- 7. 戸外活動
- 8. パソコン
- 9. おやつ作り
- 10. おやつを食べる
- 11. 昼寝
- 12. 習い事・おけいこ
- 13. その他（具体的に： _____）

F. 預かり保育の利用にあたり、保護者の就労を条件に含めていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1. 条件に含めている
- 2. 条件に含めていない

資料編 調査票見本

- G. 1日あたりの平均利用者数について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 0～4人 | 3. 10～14人 | 5. 20～24人 | 7. 31～49人 |
| 2. 5～9人 | 4. 15～19人 | 6. 25～30人 | 8. 50人以上 |
- H. Gで答えた利用者のうち、毎日17時以降のお迎えになる子どもの人数について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. いない | 4. 10～14人 | 7. 25～30人 |
| 2. 1～4人 | 5. 15～19人 | 8. 31～49人 |
| 3. 5～9人 | 6. 20～24人 | 9. 50人以上 |
- I. 今後の予定について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
1. 規模を拡大したい
 2. 現状のままでよい
 3. 規模を縮小したい
 4. その他（具体的に： _____)
- J. 預かり保育を実施していて課題に感じることにについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
1. 運営費の確保
 2. 預かり保育を行う場所の確保
 3. 保護者への対応
 4. 保育内容の充実
 5. 教材などの環境の充実
 6. 活動内容についての計画の作成
 7. 保育者の専門性の向上
 8. 保育者の確保
 9. その他（具体的に： _____)

質問は以上です。

多岐にわたる質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。

※保育所版、認定こども園版の調査票についてはそれぞれのオリジナル項目のみを掲載しています。
下記に掲載したものの以外は、すべて幼稚園版との共通項目です。

保育所版

Q2 貴園の設置形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 公設公営 | 4. その他（具体的に： _____） |
| 2. 公設民営 | |
| 3. 民設民営（私立） | |

→**SQ.** 「2. 公設民営」「3. 民設民営（私立）」を選んだ方におたずねします。運営主体についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| 1. 社会福祉法人 | 4. 株式会社（法人企業） | 7. その他（具体的に： _____） |
| 2. 社団法人 | 5. NPO 法人 | |
| 3. 財団法人 | 6. 宗教法人 | |

認定こども園への移行についておたずねします。

Q24 平成 24 年 9 月 1 日現在、政府は子ども・子育てを支援するための取り組みとして、「認定こども園の拡充」を進めようとしています。貴園の現況あるいは今後の対応について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現在、認定こども園の認定を受けている
2. 現在、認定は受けていないが、申請中である
3. 条件によっては、「新幼保連携型認定こども園」^(※1)に移行してもよいと思う
4. 条件によっては、「保育所型認定こども園」^(※2)に移行してもよいと思う
5. 認定こども園への移行は考えていない
6. 詳しい内容がわからないので、判断できない
7. 設置者の方針によるため、判断できない
8. その他（具体的に： _____）

※1 児童福祉施設および学校の法的位置づけをもつ施設。
※2 保育所の認可のみであるが、幼稚園機能をもつ施設。

→**SQ.** 2～5のいずれかを選んだ方におたずねします。それを選んだ理由について、差し支えなければお書きください（複数選んだ方は、あなたの気持ちにもっとも近い番号を 内に記入したうえで、理由をお書きください）。

理由

延長保育と新しい保育所保育指針についておたずねします。

Q27 延長保育について、あてはまる番号に○をつけてください。また、行っている場合、その時刻を記入してください。

- | | | |
|----------------|-----------|---------------------------|
| (1) 通常保育前の延長保育 | 1. 行っていない | 2. 行っている→ () 時 () 分から開始 |
| (2) 通常保育後の延長保育 | 1. 行っていない | 2. 行っている→ () 時 () 分で終了 |

Q28 2009年から新しい保育所保育指針が実施されています。このことにより、次のA～Jのような変化はありましたか。それぞれ、あなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください。

	とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
A. 保育士等の意識が向上した……………	1	2	3	4
B. 施設長の意識が向上した……………	1	2	3	4
C. 日常的に、保育指針を参考にして保育を 行うようになった……………	1	2	3	4
D. 保育所の役割がより明確になった……………	1	2	3	4
E. 子育て支援の体制や内容が充実した……………	1	2	3	4
F. 保育にかかわる事務量が増加した……………	1	2	3	4
G. 保育の計画、評価、子育て支援など、 園としてやるべきことが増加した……………	1	2	3	4
H. 研修にかける時間が増加した……………	1	2	3	4
I. 保育の質が向上した……………	1	2	3	4
J. 保育所の運営にプラスの影響を与えた……………	1	2	3	4

認定こども園版

Q2 貴園の設置形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 公立・幼保連携型 | 4. 私立・幼稚園型 | 7. 地方裁量型 |
| 2. 私立・幼保連携型 | 5. 公立・保育所型 | 8. その他（具体的に： |
| 3. 公立・幼稚園型 | 6. 私立・保育所型 | ） |

Q24 認定こども園になったことのおよさをおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけたうえで、特に感じたよさを3つまで選んで、その番号を□内に記入してください。

1. 希望するすべての子どもに幼児教育・保育を一体的に提供できる
2. 0～5歳児までの育ちを一貫して支えることができる
3. 園の子育て支援が充実する
4. 異年齢の子ども同士がふれあう機会ができる
5. 子どもの育ちに必要集団規模を確保できる
6. 幼稚園、保育所の保育者の学び合いが進む
7. 地域の待機児童の減少に貢献できる
8. 園児数が増えて、園の運営・経営が安定する
9. 園への補助金が増えて、園の運営・経営が安定する
10. 園の施設を有効活用できる
11. よさは、特にない
12. その他（具体的に：

特に感じたよさ（3つまで）

--	--	--

Q25 認定こども園の運営上の課題として感じるることについて、それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | 以前から
(今も続く)
課題である | 以前は課題で
あったが、今は
課題ではない | 以前は違っ
たが、今は
課題である | 以前から
課題では
ない |
|---|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------|
| A. 補助金が十分ではない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. 保育者（幼稚園教員と保育士）の意識の統一が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 保育者（幼稚園教員と保育士）の勤務条件の統一や
ローテーションづくりが困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 会議や研修時間の確保が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E. 保育の反省や翌日の準備を行う時間の確保が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F. 保育者の確保が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G. 保育者の負担が過重である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H. 長時間児と短時間児に配慮したクラス編成が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I. 長時間児と短時間児に配慮した生活の場所の確保が
困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J. 長時間児と短時間児の保育や行事の実施が困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| K. 長時間児と短時間児それぞれの保護者への対応が
困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| L. 施設・設備の面で対応することが困難である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| M. 園同士の競争が激化して、園の運営・経営が厳しい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| N. 事務的な負担が大きい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| O. その他（具体的に：……………） | | | | |

Q26 認定こども園の運営上の工夫について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 給与体系や勤務時間などを統一している
2. 職員会議や研修の時間を増やしている
3. 幼稚園、保育所の担当者を計画的に異動させている
4. 職員室を1つにしている
5. 保育者の数を増やしている
6. 幼稚園教員と保育士が複数担任制で、1つのクラスを担当している
7. 長時間・短時間児の交流の場を設定している
8. 長時間・短時間児の保護者の生活状況に配慮して行事などを実施している
9. その他（具体的に：……………）